



Dublin, Ireland | 4-7 June 2013

第9回 ITS European Congress 参加報告

—東京 ITS 世界会議 2013 告知活動を展開—

第9回 ITS European Congress が、アイルランドの首都ダブリンで、6月4日(火)～6月7日(金)の4日間にわたって開催された。参加国数 55 カ国、参加者数 1700 人、出展数 73 企業・団体であった。会議テーマを“ ITS: Real Solution for Real Needs”とし、セッション、展示等を通して活発な議論が行われた。開催都市のダブリン市は税制優遇政策もあり、IT 企業の本社が集まっている。交通関係では、80 年代に交通管制システムを導入し、ITS として、課金、乗客への交通情報提供、物流管理、トンネル管理、スマートシティー等のプロジェクトを率先して実施してきている。



Convention Center Dublin



ダブリン トリニティーカレッジ正門

会議では、欧州地域での活動を中心に、研究開発から普及へのシフトを進める中で、技術的には、ビッグデータ、スマートコミュニティ、自動運転、次世代車(EV 等)、マルチモーダルな移動者情報等をキーワードとしたセッションを中心に行われ、欧州全域が知見を共有化し、足並みをそろえて ITS 普及に当たることが熱心に論議された。また、EC のいくつかの ITS プロジェクトの進捗状況が報告され、実証試験等における評価結果が数値で紹介される等、着実に実用化に向けて進められている状況が示された。

本イベントは ITS Japan と ITS 世界会議東京 2013 日本組織委員会にとっても、特に欧州各国への又とないプロモーションの機会でもあり、ITS Japan の渡邊浩之会長・日本組織委員会委員長は、6 月 4 日の開会式～レセプションおよび当日の夜に行われた VIP デイナーに出席され、東京大会への参加の呼び掛けを精力的に行われた。さらに、閉会式では、天野専務理事が東京大会のプロモーションビデオを流すとともに、ショートスピーチにおいて、メインテーマとして自動運転とビッグデータ、ショーケース、日本の祭りを基調としたエンターテインメント、AP からの閣僚級の参画によるネットワーク構築の機会提供等の大会ハイライトを紹介された。



天野専務理事



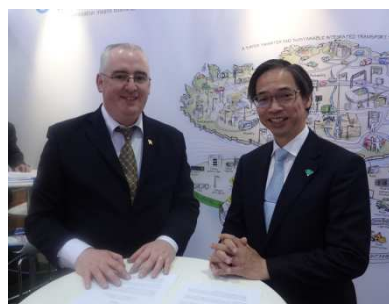
東京大会プロモーションブース

さらに、展示場では日本組織委員会により東京大会のプロモーション用のブースが設けられ、ブースを訪れた方々に東京大会についてより深く認知していただくとともに、参加、会議登録の促進を図った。

なお、ITS Japan は会議開催中に、ITS UK および ITS Ireland と連携に関する覚書(MOU)に署名を行った。



左 ITS UK Chair
Ms.Sharon Kindleysides



左 ITS Ireland
渉外担当、BOD メンバー
Mr.Donal Hodgins

以上